

豊栄駅前通商店街振興組合

機関名	豊栄駅前通商店街振興組合		
所在地	新潟県豊栄市白新町 2 - 1 - 2		
電話番号	0 2 5 - 3 8 4 - 6 0 8 0		
地域概要	(1)管内人口 5 万人	(2)管内商店街数 8 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1 商店街	(2)会員数 3 5 店	
	(3)空店舗 1 0 %	(4)大型店空き店舗数 0 店	
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 12 年度	活性化対策事業 総事業費	ホームページ、ショッピングモール、宅配、情報提供 13,181 千円
平成 13 年度	活性化対策事業 総事業費	ホームページ、ショッピングモール、宅配、情報提供 4,637 千円

【事業実施内容】

1. 背景

新潟県豊栄市は、新潟駅より在来線で 20 分、西は新潟市、東は新発田市に接する、人口約 5 万の市である。豊栄市は、新潟市方面へのベッドタウンとしての様相が強く、買回り品などにおいては新潟市内での購買率が高い。

豊栄駅前通商店街は、豊栄駅より約 35 の店舗が軒を連ねる近隣最寄型商店街である。商店街振興組合が発足したのは平成 11 年と比較的新しく、組合理事会も 40 代、50 代の二世・三世の世代であり、比較的若手が中心となっている。

豊栄市を取り巻く商業環境は厳しさを増している。市内の商店数は年々減少傾向にあり、昭和 63 年と平成 9 年の比較では、商店数は約 78%まで減少した。中でも特に、主な業種である飲食料品店の減少が顕著である。

また、市全体の高齢化率は県、全国平均から比べれば高いとはいえないが、組合所在地区である葛塚地区でいえば高齢化率が約 40%にも達しており、高齢者に対応したきめ細かいサービスが求められている。



高齢者・障害者等に対する福祉サービスの状況を踏まえ、組合として「ふれあい・交流」をキーワードにした「心豊かで、新しいふれあいの創造による商店街の再生」を目指す必要がある。

また、大型店が消費者のニーズにマッチしている現在の状況では、商店街の個々の店が個々

豊栄駅前通商店街振興組合の営業努力をしているだけでは生き残っていけない時代である。ひとつの店のお得意様を他店でもお得意様とするためには、店主も新しいコミュニケーションツールを体得し、それぞれの店のもつ専門知識、品揃え等の商品情報をつなぐことによる新しいふれあい活動ができる体制を整備する必要がある。そのために今回の支援事業を実施するにいたった。

当事業は、12年度に実験事業を行い、13年度に本格的導入の段階を経て実施された。

3. 事業の内容

(平成12年度事業)

(1) 事業の目標

地域内情報ネットワークの足掛かりを作り、「新しいふれあいづくり商店街」を目指すきっかけとする。

地域内宅配実験事業の準備をすることで、商店街のあり方や消費者のとらえ方を見直し、量販店や郊外型店と同じ土俵での勝負を避け、独自に商店街として果たすべき機能を整理する。

組合内の情報ネットワークを整備し、できるだけメールを中心とした方法を採用して、コミュニケーションコストを削減する。

(2) 事業内容

組合内情報ネットワーク構築実験事業

- ・組合員店舗に11台のパソコンを配置
- ・組合内情報ネットワーク実験
- ・組合独自ドメイン取得により、組合のホームページを開設



地域内情報ネットワーク構築事業

- ・ホームヘルパー集合拠点、身体障害者協会、にこやかヘルプにパソコンを貸与
- ・宅配参加会員からの注文を受付し、組合へ情報を提供する機能を行うサテライトとして様々な情報発信受信機能を受け持つ。
- ・組合、地域内情報ネットワークのサテライト間でメールによる情報交換の実施

- ・お買い物情報リストの提供と注文リストの要望集約の打ち合わせ
地域内宅配実験事業
- ・受発注システムの構築
- ・物流システムの構築
- ・商品配達～集金システムの構築

(平成 13 年度事業)

(1) 事業目的

組合情報ネットワークとホームページ開設による地域内ネットワークを充実する
機械化を利用した顧客情報共有化と新しい販売促進事業の仕組みを実験する
共同受発注・宅配システムの実験 本格稼働の準備

(2) 実施事業内容

組合員情報ネットワークの構築事業

- ・組合員、賛助会員にパソコンを増設設置
- ・組合内情報ネットワーク実験事業の充実
- ・情報交換ツール、ノウハウのグレードアップ

地域内ネットワーク構築実験事業

昨年度構築した「組合情報ネットワーク」を活用し、組合員と組合相互の「組合情報の提供」「会議等の案内」「各種情報交換等」を実施した。

また、組合との地域内ネットワークを実験するにあたり、組合員以外の地域の中小企業者から新たにネットワークに参加していただき、宅配事業システムをベースとした。

定番商品情報や特売品情報の「お買い物情報リスト」の提供と注文リスト、宅配利用者からの要望情報をネットワークに載せ、地域内の情報交流の輪を広げた。



共同宅配事業は会員制のためパスワードを入力(左) 電子掲示板でコミュニケーションの場を提供している(下)



地域内宅配実験事業

昨年度構築された「宅配事業システム」をより運用しやすいよう、「通信環境の変更とそれへのシステム対応」「セキュリティ機能の強化」を行い、以下の内容で実施した。

- ・実験期間 平成 13 年 8 月 28 日～12 月 20 日

- ・実験対象者

社会福祉協議会会員	5名
身障者協会 A	20名
身障者協会 B	5名
にこやかヘルプ会員	3名
一般利用者	4名
- ・実験事業協力店 組合員 13店舗 非組合員 6店舗
- ・宅配担当者 2名

【 効 果 】

(平成 12 年度事業)

- (1) 組合内部の情報共有のスピードアップ化、コミュニケーションコストの削減
- (2) 「新しいふれあい交流事業」をキーワードにした情報化の基盤づくり
- (3) 高齢者・障害者を中心とした地域内ネットワークによる組合独自のサービスの充実

(平成 13 年度事業)

(1) 売上の傾向

1ヶ月当たり平均売上高	約5万円
注文商品単価	438.4円
利用者一人当たり平均単価	25,353.8円

売上が良かった店舗の業種は、青果、鮮魚、酒屋などであり、日常的に利用する業種であった。しかし、鮮魚店でも売上が上がっていない店舗も見られたことから、店舗の魅力や取組みも購買にかかわる要素であるといえる。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

(平成 12 年度事業)

- 宅配実験事業参加者・宅配担当ボランティアの確保と継続的な運営
- 宅配担当ボランティアへの報酬（エコマネーの検討）
- サテライトとしての情報発信内容を具体化してゆくための教育研修
- 宅配実験事業参加者への広報と参加者増強対策
- 参加者への定期的定番リストの作成、更新作業、配布作業のシステム化
- 事務局の定型業務の整理と省力化
- 採算性、効率性の再検討
- 顧客情報共有化の、問題の整理と改善

(平成 13 年度事業)

(1) システム上の課題

- 処理スピードが遅い
- 納品書2通を出力しないと控えが残らない

(2) 定番商品リストの課題

- 判りづらく、発注しにくい
- 当初想定していた抽象的な「夕食のおかず」等の注文が見られなかった
- 特徴ある商品が提供できなかった

(3) 宅配利用者の課題

サテライトの協力があまり得られなかった

高齢者、身障者の方も外出されている場合が多く、留守時対応等配達方法に検討の余地がある

身障者の方に目の不自由な方もあり、その対応も必要

サテライト登録会員の宅配意向は消極的。買い物決定者と登録会員の相違。

(4) その他の課題

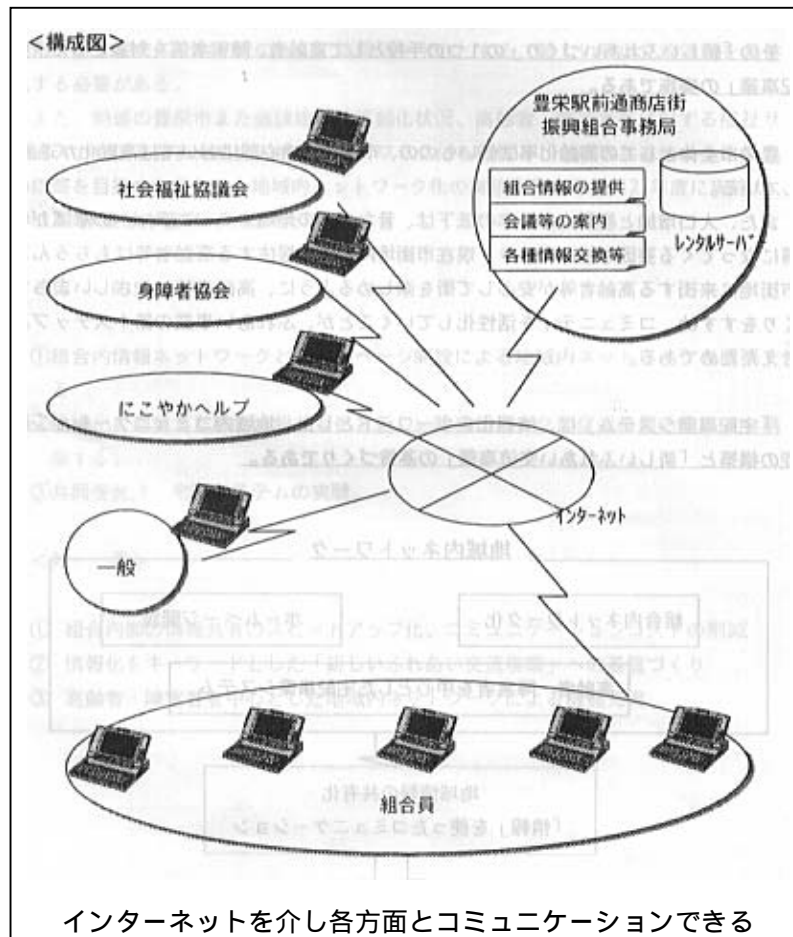
500円サービス券および市のお知らせ以外の販売促進はなく、全体的に広報不足であった

近隣の大型スーパーの開店と実験期間が類似してしまい、商品価格の格差が大きく、定番商品の訴求が弱かった

【 関 連 U R L 】

豊栄駅前通商店街振興組合

<http://www.ukiuki-net.com>



豊栄駅前通商店街

豊栄駅

殖産銀行豊栄支店 ●
ふれあい広場 よりなせ家 ●
ラーメン龍 ●

三東不動産 ●
佐藤建設 ●
組合事務局 ●

リサイクルショップドレミ ●
こどもや ●
野村パレエスタジオ ●
甚兵衛館 ●
栄タクシー ●
外山鮮魚店 ●

テクノガイ ●
呉服のぎたむら ●

2F焼肉わいわい亭 ●
パチンコ白新会館 ●

島倉駅前薬店 ●
鈴木米穀店 ●
長岡屋 榮泉閣 ●
中村屋 ●

横山産業 ●
都タクシー ●

江口屋酒店 ●
とよさき時計店 ●
富田歯科医院 ●
新発田信用金庫 ●
豊栄支店 ●

おもちゃのヤスタ ●
白新工業 ●

ロケットモータース ●

NSG教育研究会 ●

雪井カメラ店 ●
モン吉のパン ●
金泉堂 ●
こばやし手芸店 ●
斉藤自転車店 ●
木村鮮魚店 ●

仲田電気商会 ●

豊栄市役所